

なずなケアプランセンター



「『100歳にて100学べ』という言葉があるんよ。私は一つ一つ忘れるけどね」と教えてくれる利用者がある。さらに「私も一生懸命仕事したんよ、遊びも沢山したけど、あんたはまだ現役で仕事をしていて一番良い時やね。頑張らんとね。」とも言ってくれる。人生を重ねてきた利用者の言葉に胸が熱くなることがある。なずなケアプランセンターでの事例検討会や事務所内での何気ない会話、訪問看護師、ヘルパーさん等、多職種からも教えられることがたくさんある。これからも、せめて自分の年齢分は学んで生きたい。

共生の里ヘルプステーション



長く独り暮らしをしている利用者が、最近「話し相手もないし、独りは寂しいわ」と言うようになった。傾聴ボランティアを利用した事もあったがなじめなかった。私たち（ヘルパー）も訪問していますが、援助をしながらなのでゆっくり話すことは出来ない。ケアマネに相談し、悩んだ末にデイサービスに行くことになった。慣れるまでは同席の人とも話せなかったのですが、「休まんと来てな、貴方と話すとおもしろいから」と言ってくれる友達が出来たと笑顔で話すようになった。今は、デイサービスを心待ちにしている。

誕生日に寄せて

「ここはわしが建てたんじゃ！」とデイサービスに来るたびに自慢気に話す利用者。生粋の高槻生まれ、高槻育ち。若いころはセロハンの会社で夜勤をばりばりしていた。若い時から『ごんた』だったと言う。そういつつも、仕事に励み、家族を大事にして老後は孫の送り迎えなど頑張っていた。デイでは隣の利用者をじっと見て、手を貸してくれたり椅子を引いてくれたりと、優しく涙もろいジェントルマンな利用者です。

